

## 【奨励賞】

### 「北方領土の在り方」

札幌市立厚別北中学校

2年 山本 和哉

今、北方領土はロシアに占領されています。それをそのままにしてはいけないということを、教育として私達は学んでいます。抗議活動も盛んに行われています。政府もロシアとの交渉を続けています。このように北方領土はロシアから取り返すのが当たり前だという社会の風潮ができています。しかし、そこで私は一つ疑問に思いました。何故そうしなければいけないのか、というものです。

北方領土は昔から日本の領土でした。それが、戦争により不法にロシアに占領された、というのが今までの流れです。しかし、それはあくまで日本から見た動向です。ロシアからの視点になったらどうでしょうか。一見同じように思えますが、決定的に違う点があります。それは、「正当」か「不法」か、ということです。日本から見たら、明らかに不法です。しかし、ロシアから見ると明らかに正当です。戦争によって得たものだという主張があります。本当の答えはわかりません。そして、恐らくこの論争に決着がつくこともないと思います。つまり、どちらも譲ることがない、ということです。これにより、北方領土問題は今日まで続いています。

こう考えると、ロシア側にも一理あって、中々返ってこないのも仕方ないと思うかもしれません。しかし、それでは何故抗議活動や教育となっているかがわかりません。わざわざそういうことをするというには何か深い理由があるのだと思います。

その一つとして、私は「日本の権利」が大きく関わってくるのだと思います。日本は先進国ですが、軍事力をあまり持たず、他の先進国から見れば小国と揶揄されることもあります。そんな国が占領されたはずの領土を気にかけていなかったらどうでしょうか。たちまち日本の権力は無くなり、衰退してしまうでしょう。そのくらい、大きな影響を与える問題なのだと思います。

また、これには他の領土問題も関わってくると思います。竹島は主に韓国、尖閣諸島は主に中国と問題になっています。そんな中、北方領土をあっさり渡してしまえば、その二つの領土も失ってしまうのではないのでしょうか。それが進めば日本の領土はどんどん減っていきます。それを防ぐためにも、北方領土は日本のものだという主張は変えてはいけないのだと思います。

このように、北方領土を失うということはただ日本の領土を失うことではありません。日本の未来の大きく左右するものとなります。だからこそ、未来の日本を担う私達が北方領土の在り方について考え、関心を持ち、日本の領土として取り返さなければならないという考えを持つ必要があるのだと思います。